

長島町消防団の主な歴史

大正6年12月	私設消防組を組織	(東長島村)
11年11月	公設消防組に改組	(東長島村)
昭和7年	私設消防組を組織	(西長島村)
10年	西長島村警防団発足	(西長島村)
14年	東長島村警防団発足	(東長島村)
22年4月	東長島村・西長島村消防団発足	
31年7月	町制施行により東町消防団と改名	(旧東町)
38年3月	「竿頭綾」受章	(旧東町)
35年1月	町制施行により長島町消防団と改名	(旧長島町)
49年9月	第10回県消防操法大会「ポンプ車の部」優勝	(旧東町中央分団)
51年3月	「竿頭綾」受章	(旧長島町)
同年9月	第11回県消防操法大会「小型ポンプの部」優勝	(旧東町中央分団)
52年3月	日本消防協会会長表彰受章	(旧長島町)
55年9月	第13回鹿兒島県消防操法大会「小型ポンプの部」優勝(旧東町中央分団)	
56年3月	日本消防協会会長表彰受章(旧東町)	
63年3月	消防庁長官表彰受章(旧長島町)	
平成6年3月	消防庁長官表彰受章(旧東町)	
18年3月	合併による「長島町」の誕生に伴い「長島町消防団」発足	
19年4月	長島町消防団再編11分団295人体制	
24年8月	第28回県消防操法大会「小型ポンプの部」優勝	(中央分団)
26年2月	日本消防協会特別表彰「まとい」受章	
4月	現在11分団295人体制	

※出水支部操法大会では、これまでに27回優勝し、そのうち10回は、ポンプ車および小型ポンプの部で同時優勝しています。

鹿兒島県大会で4回の優勝を誇る長島町消防団ですが、県大会で優勝しても全国大会への出場がない年があるため(県大会は隔年で実施され、全国大会はポンプ車の部と小型ポンプの部が交互に出場)、全国大会への出場はまだまだ果たせていません。



↑特色を凝らした消防団の合同訓練

長島町消防団が活動した過去の災害

昭和31年7月	伊唐の大火	88棟2663㎡を焼損
33年4月	片側の大火	62棟3927㎡を焼損
40年8月	台風15号による災害	死者1名、重軽傷者12名、2億円以上の被害
42年4〜9月	大干ばつ発生	により農作物に5億円を超える被害
平成11年9月	台風18号発生	、瞬間最大風速60km/hで町内全域1週間に及ぶ停電
12年8月	御所ノ浦平河内地区土石流災害	で同地区が完全に孤立
18年7月	県北部豪雨災害	、町内全域で10億円を超える被害
24年6月	2日間にわたる豪雨	で町内各地で川の氾濫や土砂災害が発生



↑平成21年に行われた防災訓練の様子



↑町民一体でハザードマップの作成

多大な評価を受けた消防団活動

- ・ 片側大火、平河内地区土石流災害などの消防設備のない離島地域での災害救助活動
- ・ 防火パレードや戸別訪問など、町民と一体となった火災予防活動
- ・ 海抜10mを示す看板設置、津波、土砂災害に対するハザードマップ作成などへの協力
- ・ 救助、救護など多様な活動を想定した消防団合同訓練の実施
- ・ 災害時の避難行動に配慮が必要な人の把握や、救助、救護を想定した訓練の実施
- ・ 自衛隊、海上保安部、警察、常備消防、防災ヘリコプターなど関係機関と連携した訓練の実施
- ・ 台風災害などの大災害時の迅速な対応